

話題



地域の催し物やまちのできごとを写真で紹介します。

命の重みを知る、 子どもたちの笑顔(北上)

10月12日(水)、北上中学校体育館を会場に、国際医療救援活動を行っている医師・桑山紀彦さんを講師に招き、家庭教育講演会「地球のステージ」が行われました。

講演では、世界各地の貧困・紛争地域で、国際医療救援活動を行いながら出会った子供たちの、豊かな心と明るくたくましく前向きに生きている様子を、活動をしながら撮りためてきた貴重な映像と桑山さんのオリジナルの音楽と語りで紹介されました。



大にぎわい! おがつホタテまつり(雄勝)

10月9日(日)、シーサイドふれあい広場を会場に「第10回おがつホタテまつり」が開催されました。

当日は新鮮な雄勝のホタテを買い求めるために、朝早くからたくさんの人たちが訪れました。また、会場内では太鼓や胴躰子、トークショーなどさまざまなアクションが行われ、大変にぎやかな一日となりました。



守ってネ! 交通ルール(河北)

9月26日(月)、秋の交通安全運動に伴い、大川小学校の3年生以上で構成する鼓笛隊約100人が交通安全パレードを行ないました。

この催しは、河北地区交通安全協会大川支部と大川小学校の共催で毎年実施されており、河北交通安全母の会大川支部やPTAの方々などの協力を得ながら、今年は釜谷地区と横川地区をパレードし、チラシや風船を配りながら交通安全を呼びかけました。



金華山の勇壮な行事!(牡鹿)

鮎川浜の金華山で10月2日(日)・9日(日)の2日間、シカの角切りが行われ多くの観光客でにぎわいました。

これは毎年この時期に行われているもので、シカが大きく伸びた角で人に危害を加えないようにと、昭和38年から行われています。

シカの角に勢子(せこ)が投げ縄をかけて数人がかりで取り押さえると、のこぎりで大きな角を切り落としていました。

まちの



このコーナーでは、



身体障害者支援施設 「ラボラーレ」オープン!(桃生)

軽作業をとおして身体障害者の社会復帰を支援する授産機能と、リハビリテーションや食事などの介護サービスが受けられる療護機能を兼ね備えた身体障害者支援施設「ラボラーレ」の開所式が10月1日(土)、ラボラーレの施設内で行われました。

式には、平塚義兼旧桃生町長や工事関係者など約80人が出席。桃生地区の和太鼓愛好会「桃華会」の打合せ太鼓などで開所を祝いました。

ラボラーレのような通所型の障害者支援施設は、滋賀県・富山県について全国で3例目。施設の利用に当たってのご相談は、ラボラーレ(☎79-2071、FAX76-5191)までご連絡ください。



収穫に、ほくほく(河南)

10月1日(土)、河南旭山農業体験実習館の農園で子育て中の家族が参加して、さつまいもを収穫する「親子いもほり会」が行われました。

農業の体験をとおして、食育にも触れてもらおうと、河南子育て支援ネットワーク「スクエア」が企画しました。

昨年も参加したという親子は、「さつまいもを食べなかった子が、自分で収穫したのを機に喜んで食べるようになった」と話し、食育とさつまいもの収穫に、ほくほくしていました。



高校生が空き店舗を 利用して情報発信(石巻)

市内の実業高校に通う生徒たちが、市中心部の空き店舗を利用して学校でつくった農産物・水産加工品や仕入れた文具などの販売や体験教室などを行い、学校紹介などの情報発信や一般市民との交流を行いました。

市立女子商業高等学校は、他の高校より一足早く、10月8日(土)からチャレンジショップ KAGAMI を開き、文具の販売を通して、接客のマナーや挨拶の仕方などを学びました。

訪れた客は、彼女たちから商品説明を聞いたり、ためし書きをしたりして商品を選んで買っていました。